

輝く絆



医療法人社団せいわ会 たずみ病院
平成 28 年 1 月 第 13 号発行

拝啓

新年を迎え、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、当院の運営に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

<新年の挨拶>



新年あけましておめでとうございます。

新年を迎える度に 今年の抱負を！ とよく聞かれることが多いのですが、私個人としては 「One for all, All for one」 の信条を貫いていきたい。又、医師としては当院の理念である「地域に根ざした医療」の更なる充実に努力していきたいと思っています。新年を迎えるにあたっては、このような意識を職員ひとり一人が再認識する良い機会ではないでしょうか。

少子高齢化、高度情報化など私たちを取りまく社会経済状況が激しく変わっていくなかにおいても、変わってはいけない信念・思いを持ち続けることは私たち医療に携わる者として大切ではないかと、歳を重ねるごとに強く感じるようになりました。

今年も地域の方々、先生方と共に頑張ってまいりますので、ご協力ご指導いただけますようお願い申し上げます。

医療法人社団せいわ会 たずみ病院 理事長

小堺良平

【病院理念】 地域に根ざした医療を

【基本方針】

- 地域医療に貢献し、質の高い医療をめざします。
- 患者さまの立場を尊重し、こころのふれあいを大切にします。
- 病院職員の資質向上に努めます。

<災害対策と接遇研修>



患者さまの安全とは何かを考えながら、院内でのサービス提供体制を見直し改善に取り組んでおります。

今回は、災害時の食事について検討しました。備蓄庫の確認と患者さまへの非常食への提供訓練を行いました。備蓄庫については場所、在庫量などを知らない職員も多く、職員の災害に対する意識を高める必要を痛感しました。

また、12月に姫路経営者協会から講師を招いて院内の接遇研修を行いました。

自分の持つスタンスが「言葉」「態度」「動作」を通じて人に伝わっている。「技術だけの接遇は心に届きません」「期待」よりも「結果」が良い時に人はリピーターになるという事。病院における接遇とは「安心感を提供しこち良い治療を行うこと」など形式だけでなく心の通う対応こそが本当の接遇であると学びました。

安心を提供するためには、全病院職員がどんな場面においても、相手の立場になって考える事が大切であり、日頃からどのように患者様と接していくのかを考え行動することの重要性、「災害対策」と「接遇」、一見違う言葉であるが根本は同じではないかと研修を通じて感じました。

今後も当病院の基本方針である「患者さまの立場を尊重し、こころのふれあいを大切にします。」に基く医療サービスの提供を目指していきたいと考えております。



外来診察担当表

平成28年 1月現在

診察科	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
脳神経外科	午前診	小林	小林	尾崎(隔週)	小林	谷本	午前診のみ 交代制
	夜間診	小林		尾崎(隔週)		小林	
内科	午前診	北村 高田	北村	高田	北村	高田	
	午後診	松井	糖尿病外来 高田	松井	松井 第4ペースメーカー外来 北村	北村	
	夜間診	北村		松井		高田	
外科 (消化器外科)	午前診	上木	河村	上木 加茂田 肝臓・膵臓・胆道外科	河村	上木 加茂田 肝臓・膵臓・胆道外科	
	夜間診	加茂田		河村 上木		河村	
整形外科	午前診		山田		山田		
	午後診					山田	
	夜間診	山田					

<診察時間> 午前診: 午前 9:00 ~ 午前 11:30
午後診: 午後 2:00 ~ 午後 4:00
夜間診: 午後 5:00 ~ 午後 6:30

<編集後記>

ご近所より「柚子」を頂きました。魚や炭酸ジュースにちょこっと絞ると今までより高級な食材に・・・接遇も同じ?少しの事が満足に変わる!!日頃の仕事に何かをプラス(^.^)

その後、自家製「柚子味噌」も届き更に満足度が高まる冬になりました。

地域連携室 寺岡 !(^^)!

医療法人社団せいわ会 たずみ病院

住所: 加古川市尾上町口里790-66
代表電話: 079-456-2252
受付直通: 079-456-2282
代表FAX: 079-456-2258
HP URL: <http://www.tazumi-hp.com/>



編集: 医療法人社団せいわ会たずみ病院
広報誌作成委員会